

全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：山形県 長井市

◆コンセプト： コミュニティセンターを核とした地域住民主体の地域づくり

<特徴>

令和元年度から市内の地区公民館すべてをコミュニティセンター（以下「コミセン」）へ移行し、これまでの生涯学習・社会教育の事業だけでなく、各地域で策定した「地域づくり計画」に基づき、防災・福祉等を含めた総合的な地域づくり活動を行う拠点と位置付けている。令和4年度からはコミュニティセンター運営組織を法人化し、組織的な人材育成や戦略的事業に取り組んでいる。

長井市における特徴的な取組



◀生活支援体制の構築

誰もが住み慣れた地域で幸せに暮らし続けられる環境を構築するため、住民同士の共助による移動支援や買い物支援を実施。



◀デジタル化への対応

長井市が進めるスマートシティ推進事業に並行して、全世代がデジタル機材を活用できるようコミセンでの対応を実施。



◀組織的な人材育成の実施

各地域における地域づくり活動の機運醸成のため、2024地域づくりフォーラムを開催。関係団体との連携により、広い範囲・世代を対象とし、地域全体の人材育成を図った。

基礎データ

・人口：24,639人（R6.3月時点）

中央地区：11,943人	平野地区：2,483人
致芳地区：3,050人	伊佐沢地区：1,034人
西根地区：2,704人	豊田地区：3,425人

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】

- 地域住民の交流スペースの創出
 - 各種教室後の懇談、ワークショップ等に活用。

【今後の展開】

- 各コミセンへのwi-fi環境の整備により、デジタル事業をより促進し、施設の利便性の向上と新規来館者の増加を図る。

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】

- デジタル化への対応
 - 高齢者等を対象にスマートフォンの操作教室等を実施。
- マルシェ事業の実施
 - 地域の農産物や地場産品、教室等で作成した手芸品の販売会を実施。

【今後の展開】

- 全ての地区で教室を開催することで、デジタルデバイドの解消を図り、リアルビジネスの創出に繋げる。
- 一部地区でのマルシェ開催から、全地区での開催に広げ、地域のなりわいづくりを促進する。

「健康」

【主な取組内容・進捗状況】

- 健康教室の実施
 - 高齢者を対象に、様々な健康づくり教室や体験を実施。

【今後の展開】

- 体組成計等の新たなツールを導入し、教室での継続的な効果測定を実施する。
- eスポーツの実施により、従来の方法にとらわれない健康づくりを促進する。

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】

- 空き家を活用した移住定住促進
 - 伊佐沢コミセンにおいて「移住・定住マップ」を作成。

【今後の展開】

- 地区内の関係機関と連携して空き家相談会を開催することで、空き家解消と移住定住を促進する。

コミュニティへの人の流れ

- 買い物支援事業
 - 西根コミセン施設内に直売所、伊佐沢コミセン敷地内にスマートストアを設置し、買い物目的での来館者が増加している。売店の更なる魅力向上・発信のほか、新たな買い物支援の実施を図る。
- 移動支援事業
 - コミセン事業参加者の送迎を実施し、地域の方がより集まりやすい環境を整備することで、コミュニティの活発化を図る。

その他特徴的な取組

- 法人の設立・運営
 - 市内コミセンの管理・運営等を包括する（一社）長井市コミュニティ協議会の運営を令和4年度から開始。
 - 組織的な人材育成により、地域のコーディネーターとして、地域の独自性を活かしながらも、地域課題解決につながるコミュニティビジネス事業等の実施を図る。